


第1回 協議会	平成18年10月 6日 提案
第 回 協議会	平成18年 月 日 確認

協定項目 20 市町の慣行の取扱い

- 1 . 市町章、花・木、憲章、歌の取扱い・・・・・・・・・・P1～5

小委員会	
専門部会	企画財政
分科会	企画

協定項目	20 市町の慣行の取扱い			専門部会名	企画財政
分類	20-1 市町章			分科会名	企画
現 況					
項目	佐賀市	川副町	東与賀町	久保田町	
市町章図					
選定方法	公募により市で制定	全国からの公募により制定	一般公募による	町制施行時に公募により町で制定	
説明	佐賀市の頭文字である「S」をモチーフに、人と人とのふれあいをイメージし、二つの円は、はじき出る個性とはぐくみ成長する英知を表している。また、青色は空を、緑色は大地を表し、佐賀の豊かな自然を表現している	町名の頭文字である「カ」の字が図案化されている。 中央部の円形は町民の協力と融和を表し、左右に伸びる翼の線は明日へと向かってたゆみなく前進する町勢の躍進と発展を象徴したものであり、また、円に接して下部へ流れる線は、重厚なる安定感を表現している。	「ひがしよか」の「ひ」の字を左右対称に図案化し、東与賀町が明るく、力強く発展する姿を象徴する。 生地の色は、有明の海の色を示す。 図柄の色は、平野の緑を示す。	佐賀平野の中心、伸びゆく久保田町の姿を若芽をもって象徴したものである。クボタの三字をはめこんだ二重の外輪は、固く手を結んだ町民の連帯感を示すと共に豊かな大地をめぐる川やクリークの有様を表現し、これから恵まれた環境の中ですくすくと育つ若芽の姿を描いている。	
制定期日	平成18年3月	昭和45年2月	昭和50年9月10日	昭和42年3月	

協定項目	20 市町の慣行の取扱い			専門部会名	企画財政
分類	20-2 市町花・木			分科会名	企画
現 況					
項目	佐賀市	川副町	東与賀町	久保田町	
市町花		梅	桜	キンモクセイ	
市町木		キンモクセイ	松	キンモクセイ	
選定方法		一般公募で募集し選定委員会にて指定	町で制定	町で制定	
選定理由		町花（梅） 厳冬の風雪に耐え、早春に花を付ける、また、清楚で香りが高く気品がある。 町木（キンモクセイ） 常緑の高木として古くから庭木として栽培され秋の開花時期には、香りが良く、町を花の香りで和やかにする。	町花（桜） 日本の国花で日本に最も種類が多く、古来、花王と呼ばれた花桜を町花としている。 町木（松） 町では干拓堤防を松土居と呼び、伝説的名木ヤンボシ松など、松に緑が深いことから、松を町木としている。	久保田町の風土に適した花木	
選定期日		昭和61年3月	昭和60年10月15日	昭和61年1月	

佐賀市・川副町・東与賀町・久保田町合併協議会 協議事項調整内容

協定項目	20 市町の慣行の取扱い			専門部会名	企画財政
分類	20-3 市町民憲章			分科会名	企画
現 況					
項目	佐賀市	川副町	東与賀町	久保田町	
名称	市民の憲章	川副町民憲章	東与賀町民憲章	該当なし	
憲章内容		<p>自然と人との大きな営みによって拓かれ築かれてきたわたしたちの郷土を、よりたくましく、豊かな、美しい町にするために、この憲章を定めます。</p> <p>1、緑と水の豊かな自然を守り、住みよい町をつくりましょう。</p> <p>1、陸や海の幸に感謝し、産業の発展に努めましょう。</p> <p>1、博愛に心を尊び、人との交わりをたいせつにしましょう。</p> <p>1、知識を広め、運動に親しみ、すこやかな気風を育てましょう。</p> <p>1、互いに敬愛し、あたたかく明るい家庭を築きましょう。</p>	<p>わたくしたちは、先人の英和とたゆみない努力で築きあげられた郷土東与賀町を、未来に向かって限りなく前進させるためここに町民憲章を定めます。</p> <p>一、わたくしたちは愛と和をもつて明るい町をつくります。</p> <p>一、わたくしたちは勤労を喜び豊かな家庭を築きます。</p> <p>一、たくしたちは、良い伝統をうけつぎすこやかな子どもたちをそだてます。</p> <p>一、わたくしたちは、スポーツに親しみ心身の練磨にはげみます。</p> <p>一、わたくしたちは、教養を身につけ住みよい町をつくります。</p>		
制定期日		昭和55年6月	昭和61年10月		

協定項目	20 市町の慣行の取扱い			専門部会名	企画財政
分類	20 - 4 市町歌			分科会名	企画
現 況					
項目	佐賀市	川副町	東与賀町	久保田町	
名称	該当なし	川副町民の歌	東与賀町歌	久保田町民歌	
歌詞内容		<p>一、 川副の土は肥えてる 祖先（おや）たちが汗で築いた この土地とわれら取り組み ものを育てる喜びを 嘯みしめようよ</p> <p>二、 川副の海は有明 不知火（しらぬひ）のつたえゆかしく この波をわれら乗り越え たぐい稀な海の幸（さち）を 手に入れようよ</p> <p>三、 川副の町はわが町 かけ換えのない ふるさとだ お互いに力をあわせて もっと豊かで美しい 町にしようよ</p> <p>博愛の精神を忘れず 強く明るく和やかに 生きて行こうよ</p>	<p>東与賀町民の歌 あかるい東与賀</p> <p>（一） 緑 萌えたつ 土があり 黄金の 花が 咲くところ 汗の もろ手に 喜びを 大地に生きて 握ろうよ ひかりの町よ 東与賀 ひかりの町よ 東与賀</p> <p>（二） 響く 生命の 海があり 満ち干の 幸が 呼ぶところ 拓く 豊かさ 有明の 潮路を 越えて 伸ばそうよ ちからの町よ 東与賀 ちからの町よ 東与賀</p> <p>（三） 遠い 歴史の 道があり こころの 友が 住むところ 今日あかるい ほほえみを 明日へ つなぎ 交わそうよ のぞみの町よ 東与賀 のぞみの町よ 東与賀</p>	<p>1 ゆたかなり 嘉瀬川の流れ 父母の心 うけつぎて 野に種まけば 伸びゆく その芽 すこやか 空よ 光よ みなぎる命よ 久保田 久保田 太陽と緑の町 久保田 伸びゆく 久保田町</p> <p>2 かぐわしき 金木犀の花 思い齊しく 手をとりて ともに学ばば 咲きにおう その花 うるわし 空よ 光よ たぎる思いよ</p> <p>3 はるかなり 天山の嶺 高き理想 求めつつ 業に励めば 稔りあり その実 たくまし 空よ 光よ あふれる力よ</p>	
制定期日		昭和55年10月	昭和61年10月1日	昭和61年9月	

佐賀市・川副町・東与賀町・久保田町合併協議会 協議事項調整内容

協定項目	20 市町の慣行の取扱い		専門部会名	企画財政
分類			分科会名	企画
項目	課題	調整案	備考	
市町章	市町章の制定については1市3町とも、公募により制定している。	佐賀市に合わせる		
市町花・木	花・木の選定方法の相違 町で選定・・・東与賀町・久保田町 一般公募・・・川副町 市町花 川副町・久保田町がキンモクセイ 各市町、花・木ともそれぞれ異なっている。	佐賀市に合わせる	(1市3町1村協議結果) 新市において定める。	
市町民憲章	2町(川副町、東与賀町)で制定している。	佐賀市に合わせる	(1市3町1村協議結果) 新市において定める。	
市町歌	市町歌については、3町(川副町・東与賀町・久保田町)で制定している。	佐賀市に合わせる	(1市3町1村協議結果) 新市において定める。	